

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	上下水道料金徴収事業			
担当部・課名	料金課	評価者(課長)	玉野一彦	評価責任者(部長)	井筒 守	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600501	分野	6都市基盤	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)経営の安定化			会計名	11水道事業会計

事業の目的(対象)	ご利用のお客様	事業の目的(意図)	上水道、下水道の使用に対する公平な受益負担をいただくため、当該料金の回収に努め、もって低廉な料金と公営企業財政の健全な運営をめざす。
事業の内容(手段)	①未収金の早期回収による不良債権化の防止 ②市から引き継いだ簡易水道システムを上下水道局で運用しているシステムに統合することで、 ・システムの二重管理を解消することで、労力と必要経費を削減し、供給原価の低減を図る。 ・料金センターで一元管理することで、給水区域内異動等の契約管理とお客様サービスの満足度向上を図る。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					目標値	99.3	99.4
現年収納率		決算数値には納期未到来債権が含まれるため、5月の月次報告値とする。	百分率	実績値	99.5	99.6	
				達成度(%)	100.3%	100.2%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	124,089	128,704	128,704	128,704
うち一財		千円					
(決算額)	直接事業費	千円	124,089	128,704		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円					
	正職員人件費	千円	43,962	66,312			
	人工数	人	6.00	9.00	9.00		
	支出コスト	千円	決) 168,051	決) 195,016			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	人口減少、水使用原単位の縮小により、経営環境が厳しくなっており、自治法や企業法の改正で可能になった民間委託やアセットマネジメント手法の導入を実施。収入においても、第二次行革大綱実施を機に、数値目標を設定するとともに、業務改善を図ってきた。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 効率的な事業運営に向け、様々なBPOサービスの導入が検討される中、経済性が図られる一方で、災害時等の危機管理ができるかが課題となる。上下水道事業は重要なライフラインであり、事業に精通した人員の減少はBCPに支障及ぼす可能性がある。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	収入率は高水準を維持しており、破産倒産等の債権回収困難事案が主であるため、新規未回収債権の発生防止とともに、回収困難債権の保全や管理が主となる。		評価責任者コメント	

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など) 遅れていた熊毛鹿野地区の料金統一を平成31年度に完了、同時に同地区のデータを統合することで労務資源をデータ管理事務から債権管理事務へ振り替えるとともに、市から引き継いだ料金等徴収委託の業務仕様も平成32年度に統一する予定としており、債権回収管理事務も処理フローを統一して効率化を図ることでより一層の未収債権の回収と管理に努める。	備考
---	----

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	上下水道料金徴収事業	債権の早期回収による不良化の防止	債権不良化前の早期回収の推進	128,704	可	7.00	2.00
②							
③							
④							
⑤							